

# 米国国債ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型) 為替ヘッジなし(年1回決算型) フレックスヘッジ(年1回決算型)

第7期(決算日 2020年3月26日)

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

◇SKU0317020200326◇

<3170>  
<3171>  
<3172>

# 米国国債ファンド 為替ヘッジあり (年1回決算型)

&lt;3170&gt;

追加型投信／海外／債券  
日経新聞掲載名：米国国債1有

第7期 2020年3月26日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、残存期間の異なる米国国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。


|      |       |          |
|------|-------|----------|
| 第7期末 | 基準価額  | 11,011円  |
|      | 純資産総額 | 4,547百万円 |
| 第7期  | 騰落率   | 9.6%     |
|      | 分配金   | 0円       |

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00~17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

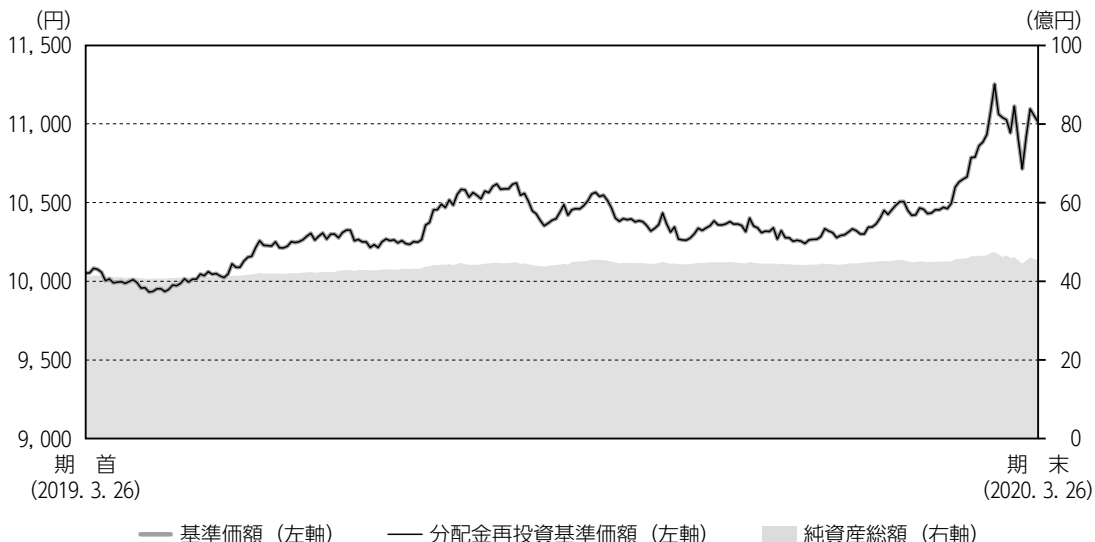
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：10,051円

期末：11,011円（分配金0円）

騰落率：9.6%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、債券の利息収入や金利が低下（債券価格は上昇）したことを主な要因として基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

| 項 目           | 当 期<br>(2019. 3. 27～2020. 3. 26) |         | 項 目 の 概 要   |
|---------------|----------------------------------|---------|---|
|               | 金 額                              | 比 率     |   |
| 信 託 報 酬       | 84円                              | 0.806%  | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率<br><b>当作成期中の平均基準価額は10,360円です。</b>               |
| (投 信 会 社)     | (40)                             | (0.381) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価                       |
| (販 売 会 社)     | (40)                             | (0.381) | 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価                         |
| (受 託 銀 行)     | (5)                              | (0.044) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価  |
| 売 買 委 託 手 数 料 | —                                | —       | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有 価 証 券 取 引 税 | —                                | —       | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| そ の 他 費 用     | 2                                | 0.019   | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数   |
| (保 管 費 用)     | (1)                              | (0.011) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用                      |
| (監 査 費 用)     | (1)                              | (0.008) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用   |
| (そ の 他)       | (0)                              | (0.000) | 信託事務の処理等に関するその他の費用  |
| 合 計           | 86                               | 0.826   |   |

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

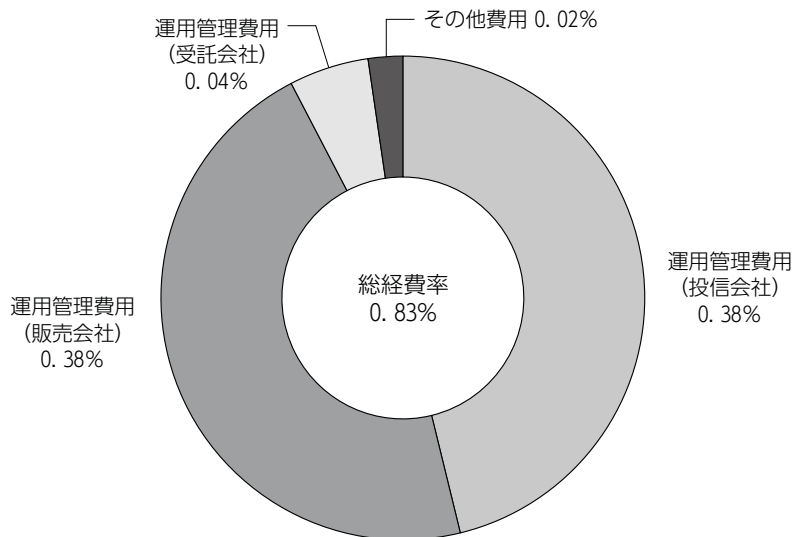
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.83%です。

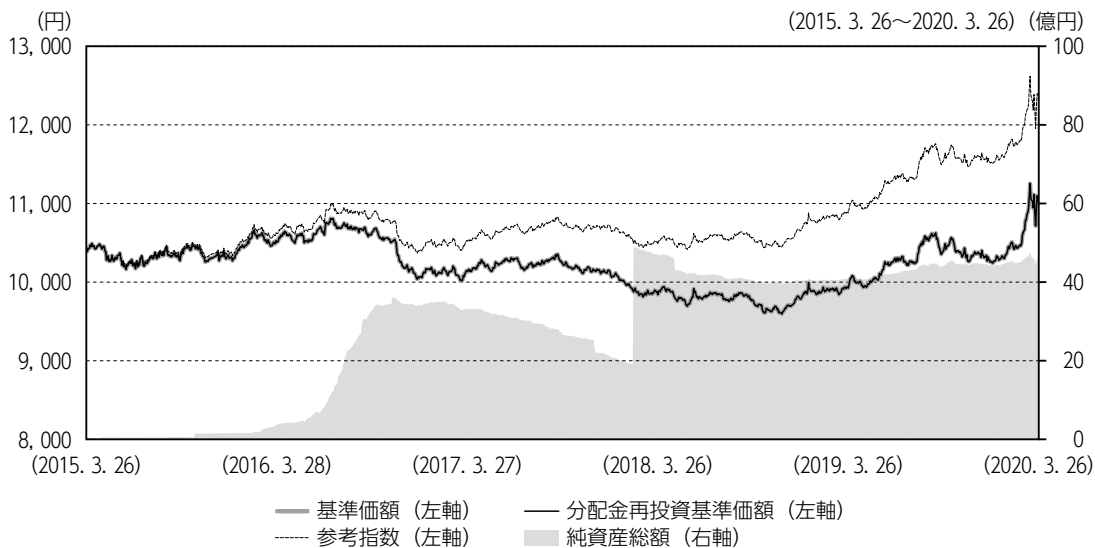


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2015年3月26日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はF T S E米国公債インデックス (米ドルベース) です。

|                                       | 2015年3月26日<br>期初 | 2016年3月28日<br>決算日 | 2017年3月27日<br>決算日 | 2018年3月26日<br>決算日 | 2019年3月26日<br>決算日 | 2020年3月26日<br>決算日 |
|---------------------------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)                              | 10,438           | 10,510            | 10,147            | 9,886             | 10,051            | 11,011            |
| 分配金 (税込み) (円)                         | —                | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%)                    | —                | 0.7               | △3.5              | △2.6              | 1.7               | 9.6               |
| F T S E米国公債インデックス<br>(米ドルベース) 騰落率 (%) | —                | 1.7               | △0.8              | △0.0              | 4.6               | 12.2              |
| 純資産総額 (百万円)                           | 26               | 379               | 3,307             | 4,688             | 4,133             | 4,547             |

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) F T S E米国公債インデックス (米ドルベース) 騰落率は、F T S E米国公債インデックス (米ドルベース) の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。F T S E米国公債インデックス (米ドルベース) は、F T S E Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はF T S E Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はF T S E Fixed Income LLCが有しています。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26)

### ■ 米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成前半の米国債券金利は、米中貿易交渉の不透明感の高まりによる世界的な景気減速懸念などからF R B (米国連邦準備制度理事会) が複数回利下げを実施したことで、低下基調となりました。その後は、政策金利を当面据え置く方針を示したことで横ばいでの推移となりましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスによる世界経済の減速懸念が高まると市場の利下げ観測が強まり、米国金利は大幅に低下しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

「米回国債マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ 米回国債マザーファンド

米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米回国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## ポートフォリオについて

(2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26)

### 当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### 米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

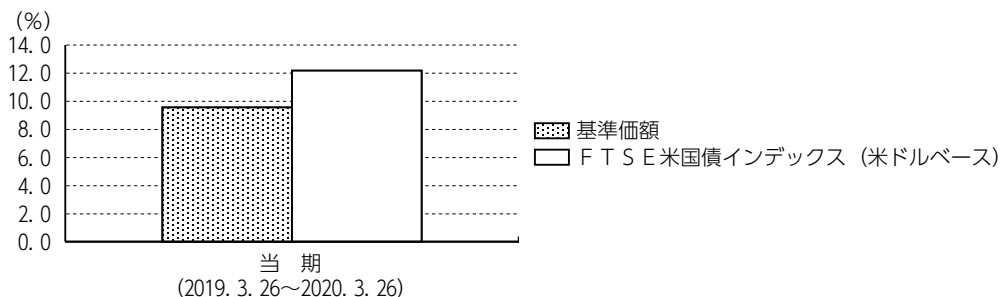
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。





## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項 目        | 当期                        |       |
|------------|---------------------------|-------|
|            | 2019年3月27日<br>～2020年3月26日 |       |
| 当期分配金（税込み） | (円)                       | —     |
| 対基準価額比率    | (%)                       | —     |
| 当期の収益      | (円)                       | —     |
| 当期の収益以外    | (円)                       | —     |
| 翌期繰越分配対象額  | (円)                       | 1,020 |

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「米国公債マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### 米国公債マザーファンド

米国公債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国公債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。



## お知らせ

### ■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

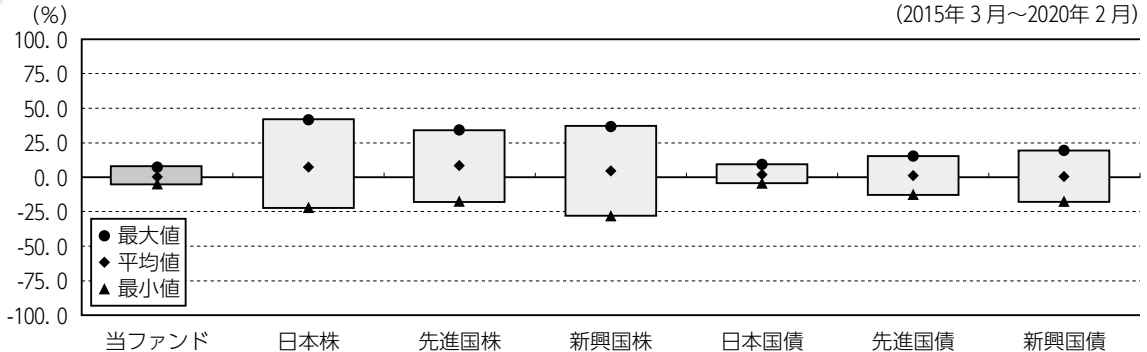


## 当ファンドの概要

|              |   |                  |
|--------------|---|------------------|
| 商品分類         | 追加型投信／海外／債券   |                  |
| 信託期間         | 約14年9カ月間（2013年6月27日～2028年3月24日）   |                  |
| 運用方針         | 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。  |                  |
| 主要投資対象       | ベビーファンド   | 米国国債マザーファンドの受益証券 |
|              | 米国国債マザーファンド   | 米国国債             |
| ベビーファンドの運用方法 | 保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。<br>※保有実質外貨建資産とは、当ファンドが保有する外貨建資産と、マザーファンドが保有する外貨建資産のうち当ファンドに属するとみなした外貨建資産の合計額をいいます。   |                  |
| マザーファンドの運用方法 | <p>①主として、米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。</p> <p>②米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします（ストリップス債（※）に投資することもあります。）。国債の償還金または償還が見込まれる国債の売却代金を再投資するにあたっては、残存期間が15年程度までの国債のうち、期間が最長のものに投資します（残存期間ごとの国債の投資金額の平準化にも利用することがあります。）。なお、投資対象となる国債の発行額が少ないこと等で流動性が低い場合には、残存期間が隣接する銘柄等で代替することがあります。</p> <p>※ストリップス債とは債券の利金部分と元本部分を分離し、それぞれ別の債券としたものです。</p> <p>③外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④外貨建資産については、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>⑤運用の効率化を図るため、債券先物取引を利用することがあります。このため、米国国債の組入総額および債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> |                  |
| 分配方針         | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。   |                  |



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



|     | 当ファンド | 日本株    | 先進国株   | 新興国株   | 日本国債  | 先進国債   | 新興国債   |
|-----|-------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 最大値 | 7.9   | 41.9   | 34.1   | 37.2   | 9.3   | 15.3   | 19.3   |
| 平均値 | 0.3   | 7.5    | 8.6    | 4.9    | 2.0   | 1.3    | 0.8    |
| 最小値 | △ 4.8 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 27.4 | △ 4.0 | △ 12.3 | △ 17.4 |

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみず情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



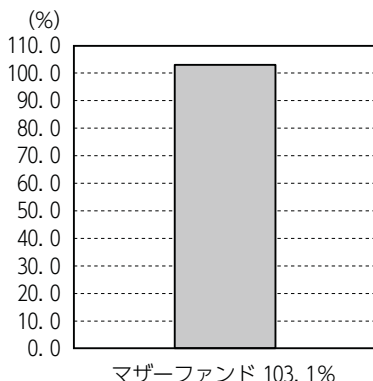
## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

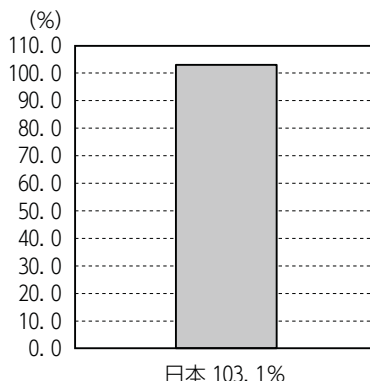
#### 組入ファンド等

|             | 比 率    |
|-------------|--------|
| 米国国債マザーファンド | 103.1% |

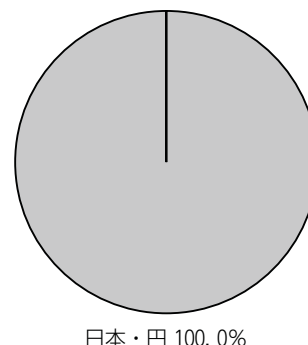
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 上記データは2020年3月26日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 組入ファンドの保有外貨建資産に対して、為替ヘッジを行っています（為替ヘッジ比率：当ファンドの純資産総額の101.8%）。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

### 純資産等

| 項 目       | 当期末            |
|-----------|----------------|
|           | 2020年3月26日     |
| 純資産総額     | 4,547,324,654円 |
| 受益権総口数    | 4,129,872,993口 |
| 1万口当り基準価額 | 11,011円        |

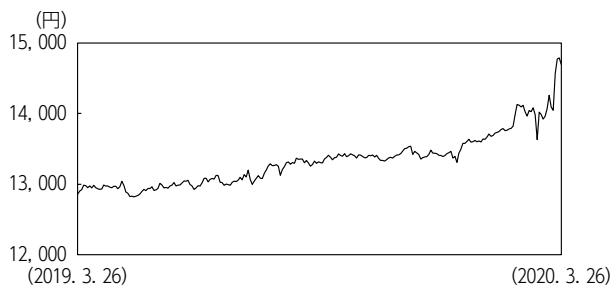
\*当期中における追加設定元本額は521,489,151円、同解約元本額は504,515,103円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 組入上位ファンドの概要

## ◆米回国債マザーファンド (作成対象期間 2019年3月27日～2020年3月26日)

## ■基準価額の推移



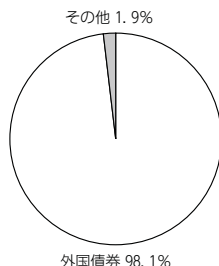
## ■1万口当りの費用の明細

| 項目              |          |
|-----------------|----------|
| 売買委託手数料         | —円       |
| 有価証券取引税         | —        |
| その他費用<br>(保管費用) | 1<br>(1) |
| (その他)           | (0)      |
| 合計              | 1        |

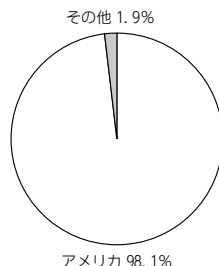
## ■組入上位銘柄

| 銘柄名   | 通貨      | 比率   |
|---|---------|------|
| United States Treasury Strip Coupon 2035/ 2 /15     | アメリカ・ドル | 6.7% |
| United States Treasury Strip Coupon 2034/ 2 /15     | アメリカ・ドル | 6.6  |
| United States Treasury Note/Bond 5.375% 2031/ 2 /15 | アメリカ・ドル | 6.6  |
| United States Treasury Strip Coupon 2033/ 2 /15     | アメリカ・ドル | 6.6  |
| United States Treasury Strip Coupon 2032/ 2 /15     | アメリカ・ドル | 6.4  |
| United States Treasury Note/Bond 1.5% 2026/ 8 /15   | アメリカ・ドル | 3.2  |
| United States Treasury Note/Bond 2.125% 2021/ 8 /15 | アメリカ・ドル | 3.2  |
| United States Treasury Note/Bond 2.0% 2025/ 2 /15   | アメリカ・ドル | 3.1  |
| United States Treasury Note/Bond 1.625% 2022/ 8 /15 | アメリカ・ドル | 3.1  |
| United States Treasury Note/Bond 6.125% 2029/ 8 /15 | アメリカ・ドル | 3.0  |
| 組入銘柄数   |         | 42銘柄 |

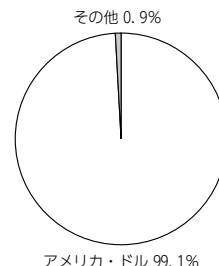
## ■資産別配分



## ■国別配分



## ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のもです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

(注3) 組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のもです。

(注4) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注5) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

# 米国国債ファンド 為替ヘッジなし (年1回決算型)

&lt;3171&gt;

追加型投信/海外/債券  
日経新聞掲載名:米国国債1無

第7期 2020年3月26日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、残存期間の異なる米国国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。


|      |       |          |
|------|-------|----------|
| 第7期末 | 基準価額  | 13,930円  |
|      | 純資産総額 | 2,267百万円 |
| 第7期  | 騰落率   | 13.2%    |
|      | 分配金   | 0円       |

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00~17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

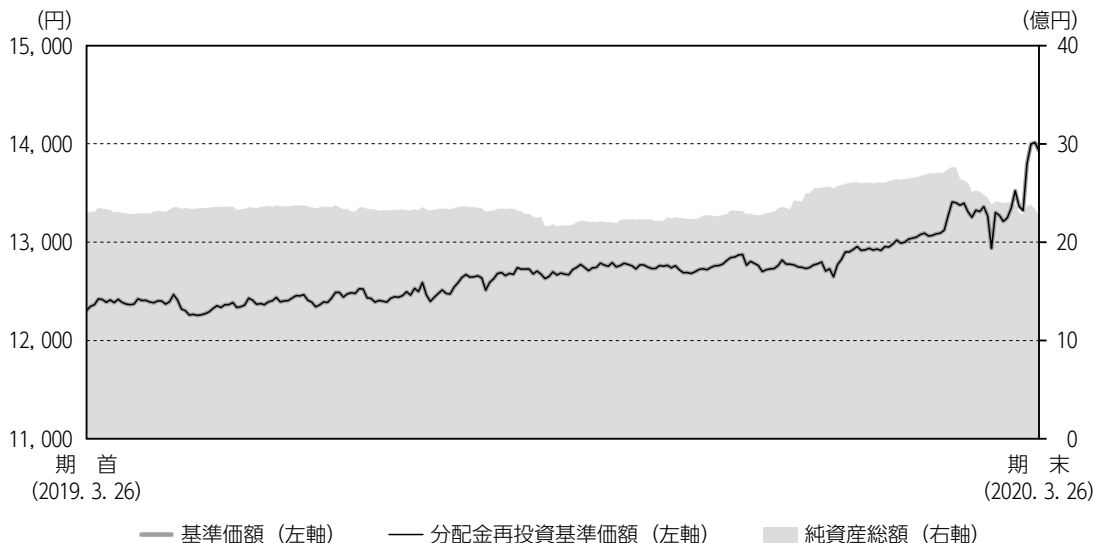
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：12,306円

期末：13,930円（分配金0円）

騰落率：13.2%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、債券の利息収入や金利が低下（債券価格は上昇）したことを主な要因として基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

| 項 目           | 当 期<br>(2019. 3. 27～2020. 3. 26) |         | 項 目 の 概 要   |
|---------------|----------------------------------|---------|---|
|               | 金 額                              | 比 率     |   |
| 信 託 報 酬       | 102円                             | 0.806%  | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率<br><b>当作成期中の平均基準価額は12,702円です。</b>               |
| （投 信 会 社）     | (48)                             | (0.381) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価                       |
| （販 売 会 社）     | (48)                             | (0.381) | 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価                         |
| （受 託 銀 行）     | (6)                              | (0.044) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価  |
| 売 買 委 託 手 数 料 | —                                | —       | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有 価 証 券 取 引 税 | —                                | —       | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| そ の 他 費 用     | 2                                | 0.019   | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数   |
| （保 管 費 用）     | (1)                              | (0.011) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用                      |
| （監 査 費 用）     | (1)                              | (0.008) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用   |
| （そ の 他）       | (0)                              | (0.000) | 信託事務の処理等に関するその他の費用  |
| 合 計           | 105                              | 0.825   |   |

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

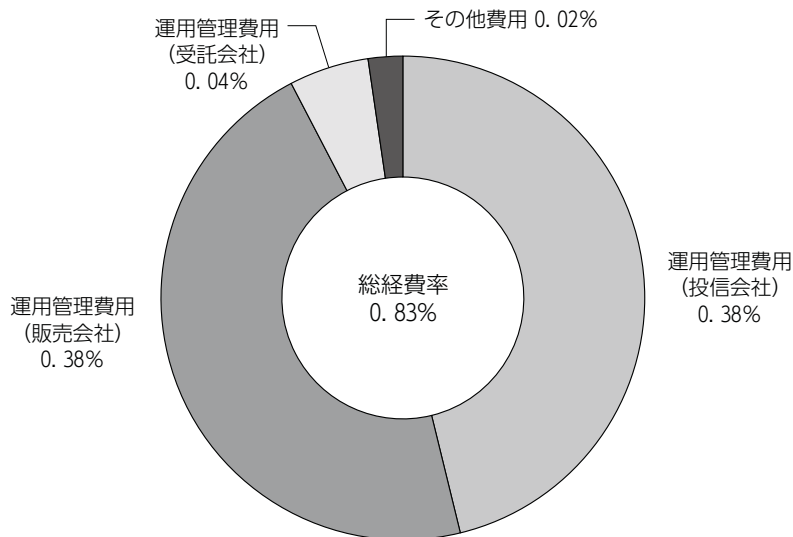
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず、組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.83%です。

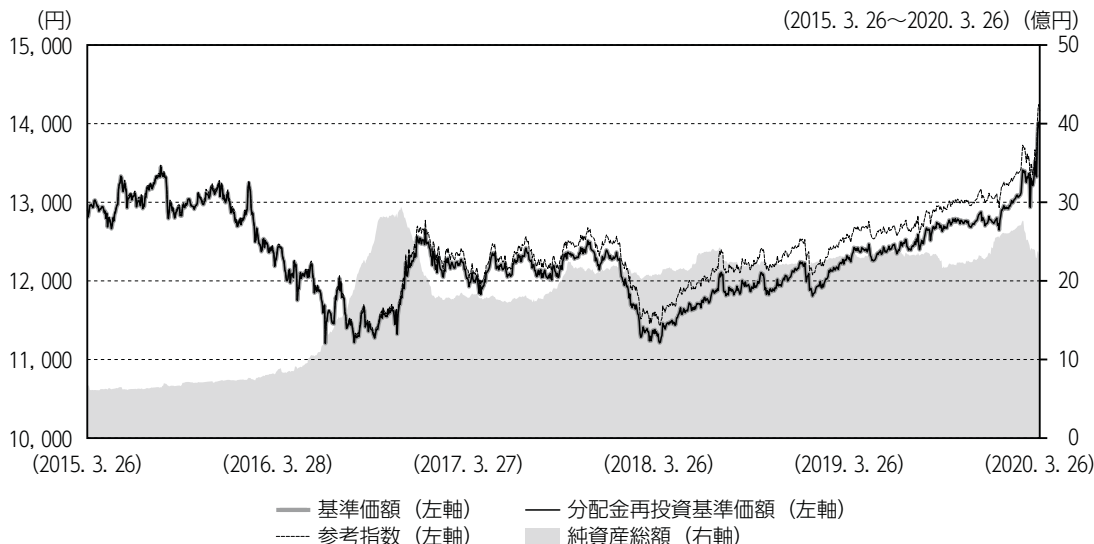


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2015年3月26日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は F T S E 米国債インデックス (円換算) です。

|                                 | 2015年3月26日<br>期初 | 2016年3月28日<br>決算日 | 2017年3月27日<br>決算日 | 2018年3月26日<br>決算日 | 2019年3月26日<br>決算日 | 2020年3月26日<br>決算日 |
|---------------------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)                        | 12,899           | 12,438            | 11,927            | 11,223            | 12,306            | 13,930            |
| 分配金 (税込み) (円)                   | —                | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%)              | —                | △3.6              | △4.1              | △5.9              | 9.6               | 13.2              |
| F T S E 米国債インデックス (円換算) 騰落率 (%) | —                | △3.3              | △3.4              | △5.0              | 9.8               | 12.7              |
| 純資産総額 (百万円)                     | 669              | 878               | 1,785             | 2,078             | 2,299             | 2,267             |

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) F T S E 米国債インデックス (円換算) は、F T S E 米国債インデックス (米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。F T S E 米国債インデックス (米ドルベース) は、F T S E Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は F T S E Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は F T S E Fixed Income LLC が有しています。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

（2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26）

### ■ 米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期前半の米国債券金利は、米中貿易交渉の不透明感の高まりによる世界的な景気減速懸念などからF R B（米国連邦準備制度理事会）が複数回利下げを実施したことで、低下基調となりました。その後は、政策金利を当面据え置く方針を示したことで横ばいでの推移となりましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスによる世界経済の減速懸念が高まると市場の利下げ観測が強まり、米国金利は大幅に低下しました。

### ■ 為替相場

米ドルは対円で当作成期首と同程度の水準となりました。

当作成期前半の米ドル円為替相場は、米中貿易交渉の不透明感などを受けて市場のリスク回避姿勢が高まったことなどから、円高米ドル安が進行しました。その後は方向感に乏しい推移となったものの、2020年に入り、新型コロナウイルスによる景気減速が懸念される中で市場のリスク回避姿勢が高まり、急速に円高が進行しました。その後は、米ドルに対する強い需要の影響から米ドル高に転じました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

「米回国債マザーファンド」を高位に組み入れます。

### ■ 米回国債マザーファンド

米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米回国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## ポートフォリオについて

(2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26)

### 当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。

### 米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

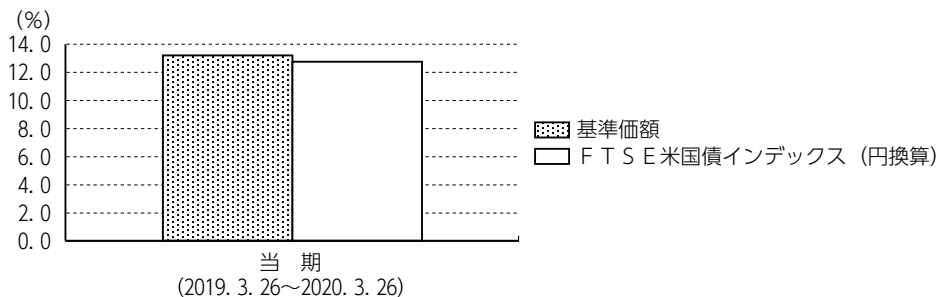
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項 目        | 当期                        |       |
|------------|---------------------------|-------|
|            | 2019年3月27日<br>～2020年3月26日 |       |
| 当期分配金（税込み） | (円)                       | —     |
| 対基準価額比率    | (%)                       | —     |
| 当期の収益      | (円)                       | —     |
| 当期の収益以外    | (円)                       | —     |
| 翌期繰越分配対象額  | (円)                       | 3,929 |

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。

### 米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。



## お知らせ

### ■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

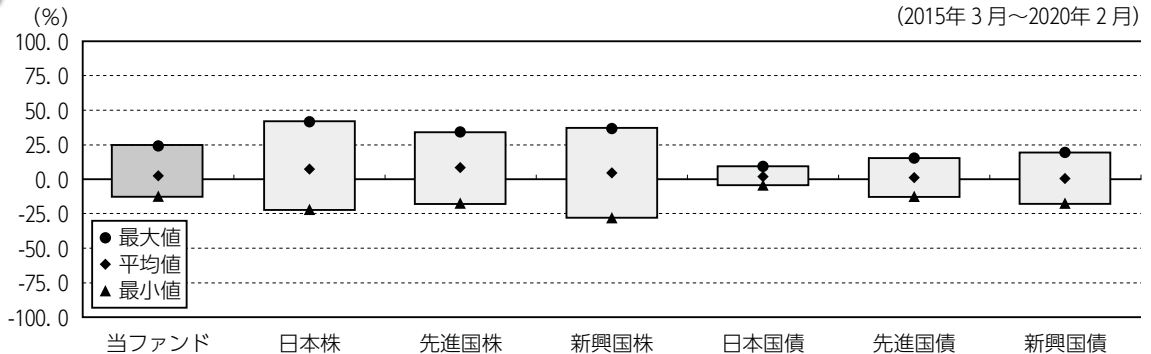


## 当ファンドの概要

|              |   |                  |
|--------------|---|------------------|
| 商品分類         | 追加型投信／海外／債券   |                  |
| 信託期間         | 約14年9カ月間（2013年6月27日～2028年3月24日）   |                  |
| 運用方針         | 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。  |                  |
| 主要投資対象       | ベビーファンド   | 米国公債マザーファンドの受益証券 |
|              | 米国公債マザーファンド   | 米国公債             |
| マザーファンドの運用方法 | <p>①主として、米国公債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。</p> <p>②米国公債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします（ストリップス債（※）に投資することもあります。）。国債の償還金または償還が見込まれる国債の売却代金を再投資するにあたっては、残存期間が15年程度までの国債のうち、期間が最長のものに投資します（残存期間ごとの国債の投資金額の平準化にも利用することがあります。）。なお、投資対象となる国債の発行額が少ないこと等で流動性が低い場合には、残存期間が隣接する銘柄等で代替することがあります。</p> <p>※ストリップス債とは債券の利金部分と元本部分を分離し、それぞれ別の債券としたものです。</p> <p>③外貨建資産の組入比率は、通常の状態では高位に維持することを基本とします。</p> <p>④外貨建資産については、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>⑤運用の効率化を図るため、債券先物取引を利用することがあります。このため、米国公債の組入総額および債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> |                  |
| 分配方針         | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。   |                  |



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



|     | 当ファンド  | 日本株    | 先進国株   | 新興国株   | 日本国債  | 先進国債   | 新興国債   |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|
| 最大値 | 24.7   | 41.9   | 34.1   | 37.2   | 9.3   | 15.3   | 19.3   |
| 平均値 | 2.5    | 7.5    | 8.6    | 4.9    | 2.0   | 1.3    | 0.8    |
| 最小値 | △ 12.3 | △ 22.0 | △ 17.5 | △ 27.4 | △ 4.0 | △ 12.3 | △ 17.4 |

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



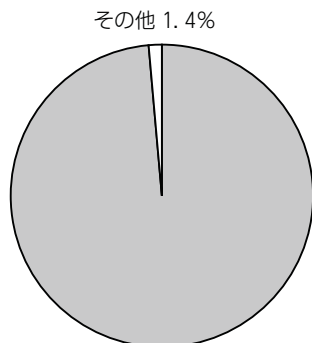
## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### 組入ファンド等

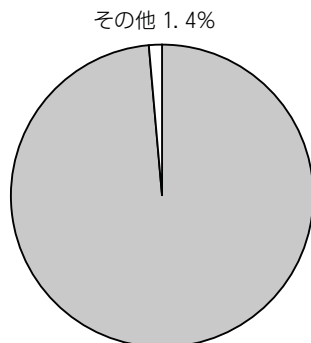
|             | 比率    |
|-------------|-------|
| 米国国債マザーファンド | 98.6% |
| その他         | 1.4   |

#### 資産別配分



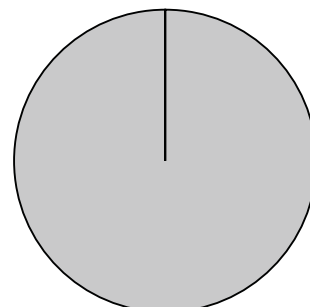
マザーファンド 98.6%

#### 国別配分



日本 98.6%

#### 通貨別配分



日本・円 100.0%

(注1) 上記データは2020年3月26日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。[組入上位ファンドの概要]には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載していません。

### 純資産等

| 項目        | 当期末            |
|-----------|----------------|
|           | 2020年3月26日     |
| 純資産総額     | 2,267,264,784円 |
| 受益権総口数    | 1,627,659,111口 |
| 1万口当り基準価額 | 13,930円        |

\* 当期中における追加設定元本額は1,011,974,187円、同解約元本額は1,253,136,669円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### 組入上位ファンドの概要

- ◆ 米国国債マザーファンド（作成対象期間 2019年3月27日～2020年3月26日）  
12ページをご参照ください。



# 米国国債ファンド フレックスヘッジ (年1回決算型)

&lt;3172&gt;

追加型投信/海外/債券  
日経新聞掲載名:米国国債1フ

第7期 2020年3月26日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、残存期間の異なる米国国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。


|      |       |         |
|------|-------|---------|
| 第7期末 | 基準価額  | 13,214円 |
|      | 純資産総額 | 191百万円  |
| 第7期  | 騰落率   | 8.8%    |
|      | 分配金   | 0円      |

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00~17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

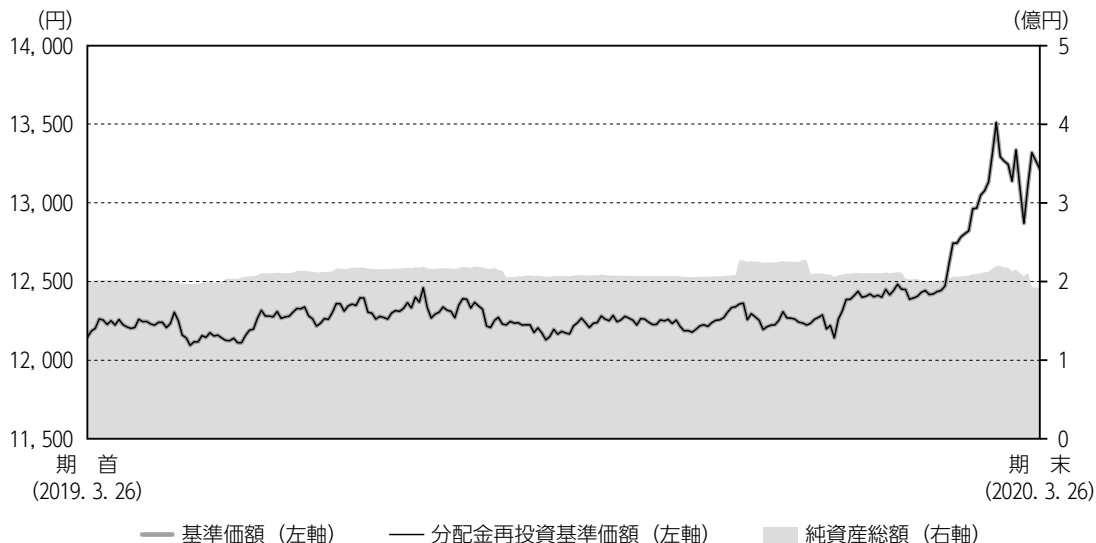
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：12,145円

期末：13,214円（分配金0円）

騰落率：8.8%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、債券の利息収入や金利が低下（債券価格は上昇）したことを主な要因として基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

| 項 目           | 当 期<br>(2019. 3. 27~2020. 3. 26) |         | 項 目 の 概 要   |
|---------------|----------------------------------|---------|---|
|               | 金 額                              | 比 率     |   |
| 信 託 報 酬       | 110円                             | 0.893%  | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率<br>当作成期中の平均基準価額は12,352円です。                      |
| (投 信 会 社)     | (58)                             | (0.469) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価                       |
| (販 売 会 社)     | (47)                             | (0.381) | 販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価                         |
| (受 託 銀 行)     | (5)                              | (0.044) | 受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価  |
| 売 買 委 託 手 数 料 | —                                | —       | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有 価 証 券 取 引 税 | —                                | —       | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| そ の 他 費 用     | 3                                | 0.024   | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数   |
| (保 管 費 用)     | (1)                              | (0.011) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用                      |
| (監 査 費 用)     | (1)                              | (0.008) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用   |
| (そ の 他)       | (1)                              | (0.005) | 信託事務の処理等に関するその他の費用  |
| 合 計           | 113                              | 0.918   |   |

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

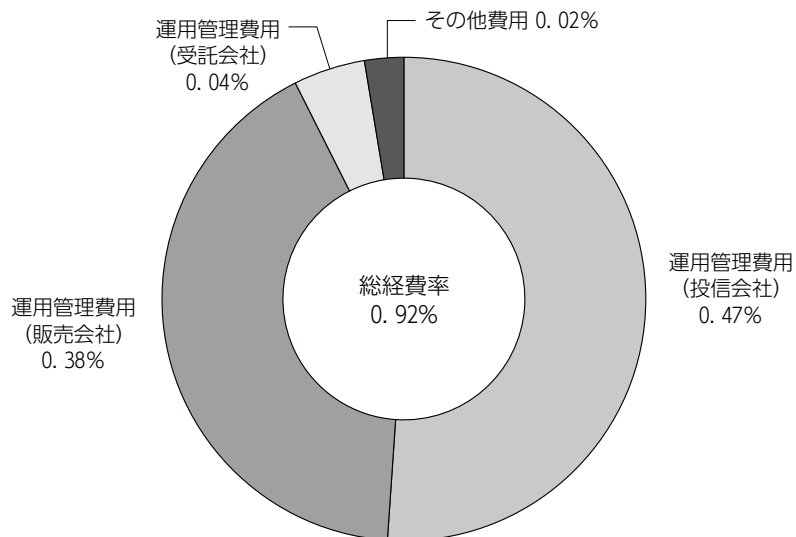
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.92%です。

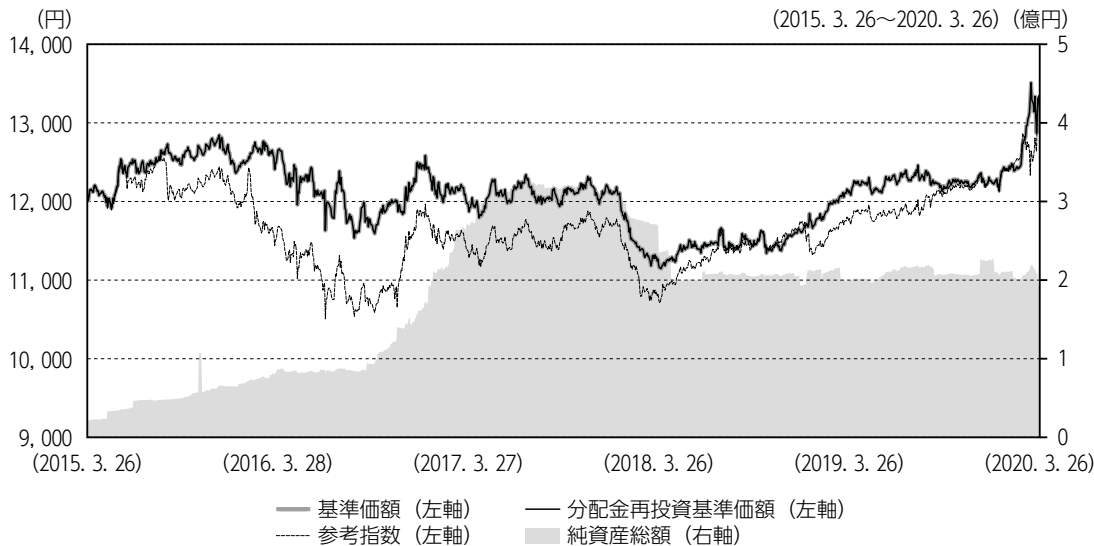


(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2015年3月26日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は F T S E 米国債インデックス (円換算) です。

|                                 | 2015年3月26日<br>期初 | 2016年3月28日<br>決算日 | 2017年3月27日<br>決算日 | 2018年3月26日<br>決算日 | 2019年3月26日<br>決算日 | 2020年3月26日<br>決算日 |
|---------------------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)                        | 12,088           | 12,662            | 11,870            | 11,155            | 12,145            | 13,214            |
| 分配金 (税込み) (円)                   | —                | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 (%)              | —                | 4.7               | △6.3              | △6.0              | 8.9               | 8.8               |
| F T S E 米国債インデックス (円換算) 騰落率 (%) | —                | △3.3              | △3.4              | △5.0              | 9.8               | 12.7              |
| 純資産総額 (百万円)                     | 21               | 86                | 268               | 235               | 200               | 191               |

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) F T S E 米国債インデックス (円換算) は、F T S E 米国債インデックス (米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。F T S E 米国債インデックス (米ドルベース) は、F T S E Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は F T S E Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は F T S E Fixed Income LLC が有しています。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26)

### ■米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期前半の米国債券金利は、米中貿易交渉の不透明感の高まりによる世界的な景気減速懸念などからF R B (米国連邦準備制度理事会) が複数回利下げを実施したことで、低下基調となりました。その後は、政策金利を当面据え置く方針を示したことで横ばいでの推移となりましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスによる世界経済の減速懸念が高まると市場の利下げ観測が強まり、米国金利は大幅に低下しました。

### ■為替相場

米ドルは対円で当作成期首と同程度の水準となりました。

当作成期前半の米ドル円為替相場は、米中貿易交渉の不透明感などを受けて市場のリスク回避姿勢が高まったことなどから、円高米ドル安が進行しました。その後は方向感に乏しい推移となったものの、2020年に入り、新型コロナウイルスによる景気減速が懸念される中で市場のリスク回避姿勢が高まり、急速に円高が進行しました。その後は、米ドルに対する強い需要の影響から米ドル高に転じました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ (フレックスヘッジ) を行います。

### ■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## ポートフォリオについて

(2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26)

### 当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ（フレックスヘッジ）を行いました。

### 米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

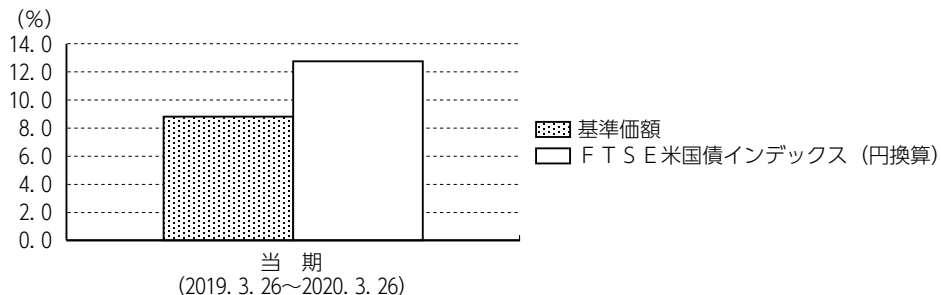
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳 (1万口当たり)

| 項 目             | 当期                        |       |
|-----------------|---------------------------|-------|
|                 | 2019年3月27日<br>～2020年3月26日 |       |
| 当期分配金 (税込み) (円) |                           | —     |
| 対基準価額比率 (%)     |                           | —     |
| 当期の収益 (円)       |                           | —     |
| 当期の収益以外 (円)     |                           | —     |
| 翌期繰越分配対象額 (円)   |                           | 3,214 |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ(フレックスヘッジ)を行います。

### 米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。





## お知らせ

### ■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。



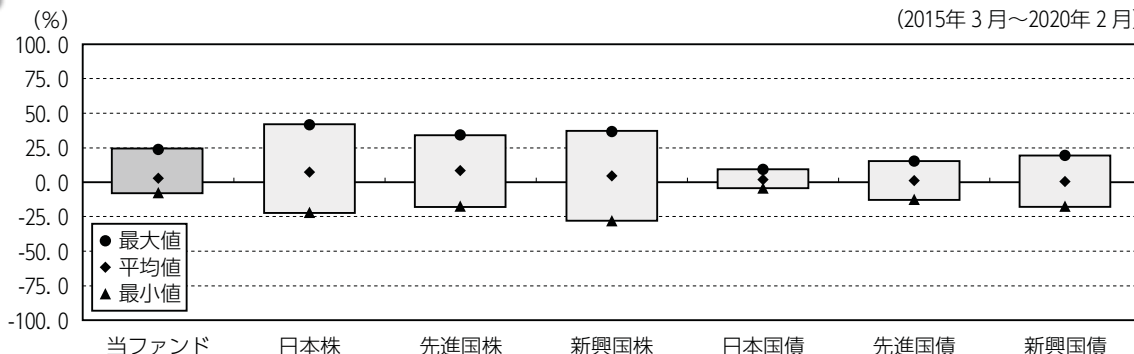
## 当ファンドの概要

|              |   |                  |
|--------------|---|------------------|
| 商品分類         | 追加型投信／海外／債券   |                  |
| 信託期間         | 約14年9カ月間 (2013年6月27日～2028年3月24日)  |                  |
| 運用方針         | 安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。  |                  |
| 主要投資対象       | ベビーファンド   | 米国公債マザーファンドの受益証券 |
|              | 米国公債マザーファンド   | 米国公債             |
| ベビーファンドの運用方法 | 当ファンドにおいて大和投資信託が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ (フレックスヘッジ) を行ない、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。またフレックスヘッジを行なうことにより、為替差損の抑制をねらいます。為替ヘッジを行なう場合には、原則としてマザーファンドを通じて保有する外貨建資産の評価額に対して100% 為替ヘッジすることをめざします。  |                  |
| マザーファンドの運用方法 | <p>①主として、米国公債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行ないます。</p> <p>②米国公債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします (ストリップス債 (※) に投資することもあります。)。国債の償還金または償還が見込まれる国債の売却代金を再投資するにあたっては、残存期間が15年程度までの国債のうち、期間が最長のものに投資します (残存期間ごとの国債の投資金額の平準化にも利用することがあります。)。なお、投資対象となる国債の発行額が少ないこと等で流動性が低い場合には、残存期間が隣接する銘柄等で代替することがあります。</p> <p>※ストリップス債とは債券の利金部分と元本部分を分離し、それぞれ別の債券としたものです。</p> <p>③外貨建資産の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。</p> <p>④外貨建資産については、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>⑤運用の効率化を図るため、債券先物取引を利用することがあります。このため、米国公債の組入総額および債券先物取引の買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。</p> |                  |
| 分配方針         | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。   |                  |



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年3月～2020年2月)



|     | 当ファンド | 日本株   | 先進国株  | 新興国株  | 日本国債 | 先進国債  | 新興国債  |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 最大値 | 24.4  | 41.9  | 34.1  | 37.2  | 9.3  | 15.3  | 19.3  |
| 平均値 | 3.0   | 7.5   | 8.6   | 4.9   | 2.0  | 1.3   | 0.8   |
| 最小値 | △7.4  | △22.0 | △17.5 | △27.4 | △4.0 | △12.3 | △17.4 |

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



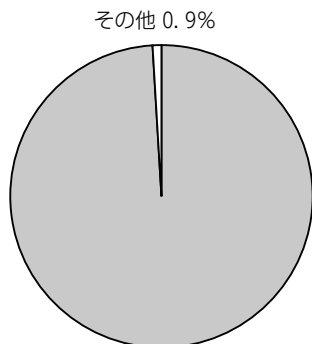
## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

#### 組入ファンド等

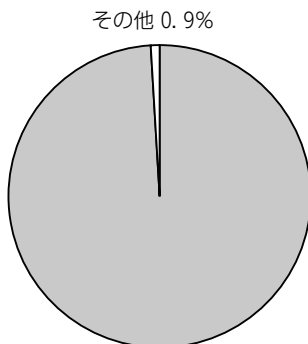
|             | 比率    |
|-------------|-------|
| 米国国債マザーファンド | 99.1% |
| その他         | 0.9   |

#### 資産別配分



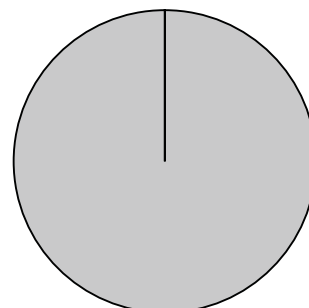
マザーファンド 99.1%

#### 国別配分



日本 99.1%

#### 通貨別配分



日本・円 100.0%

(注1) 上記データは2020年3月26日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

(注4) 組入ファンドの保有外貨建資産に対して、為替ヘッジを行っています(為替ヘッジ比率:当ファンドの純資産総額の97.4%)。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

### 純資産等

| 項目        | 当期末          |
|-----------|--------------|
|           | 2020年3月26日   |
| 純資産総額     | 191,527,249円 |
| 受益権総口数    | 144,940,848口 |
| 1万口当り基準価額 | 13,214円      |

\*当期中における追加設定元本額は41,833,324円、同解約元本額は61,740,732円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

### 組入上位ファンドの概要

#### ◆米国国債マザーファンド (作成対象期間 2019年3月27日～2020年3月26日)

12ページをご参照ください。